

令和5年度 経営改革プラン

団体名	一般財団法人神戸市水道サービス公社
-----	-------------------

設立年月日	昭和40年8月13日	
団体の設立目的・沿革	神戸市内における水道の円滑な利用の促進と適正かつ合理的な維持管理を行うために必要な事業を行い、もって神戸市水道事業の合理的な運営と市民福祉の向上に寄与する。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	期間満了メーター取替事業	水道局配水課
	施設管理事業	水道局技術企画課・自主事業
	調査・システム管理等事業	水道局配水課・技術企画課 自主事業
	管工事事業	水道局配水課・技術企画課 健康局斎園管理課
代表者	理事長 山本 剛司	

役職員数 (令和4年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		16	16
神戸市派遣職員	1	2	-	-		4	7
神戸市OB職員	1	-	-	-	16		17
その他	-	3	-	2	7	2	14
合 計	2	5	-	2	23	22	54

財務状況（単位：百万円）	令和3年度	令和2年度	差引
経常損益	▲ 3	▲ 1	▲ 2
当期正味財産増減額	▲ 5	▲ 1	▲ 4
流動資産	483	435	48
流動負債	202	96	106
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	269	267	2

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	水道事業の効率化と広域連携を通じた水道技術の継承
ミッション②	水道局からの新たな業務受託を通じ、民間事業者の育成と技術移転を推進

■短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	経営改善の推進と自立経営の確立
ミッション②	中長期的なミッションを達成するための体制強化と技術移転の推進

■経営指標（令和3年度）

経営指標				令和2年度	令和3年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲0.021	▲0.135	▲0.1ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	38.04%	34.09%	▲3.9ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	▲0.11%	▲0.55%	▲0.4ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	113.67%	99.37%	▲14.3ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	452.06%	239.72%	▲212.3ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	56.08%	49.69%	▲6.4ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	▲0.29%	▲2.10%	▲1.8ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	▲0.29%	▲2.10%	▲1.8ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
水道事業の効率化と広域連携を通じた水道技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> 品確法に基づく受託による市水道事業への貢献 他局・他都市業務の受託 他都市業務受託拡大に対応できる人材の確保・育成 			<ul style="list-style-type: none"> 他都市業務受託の拡大 技術継承 			→			→		
水道局からの新たな業務受託を通じ、民間事業者の育成と技術移転を推進	<ul style="list-style-type: none"> 水道局の3業務（漏水調査・施設巡回業務・水栓作業補助）における受託範囲・量の拡大 漏水調査・施設巡回業務・水栓作業補助の民間事業者の育成及び技術移転の検討 			<ul style="list-style-type: none"> 3業務の受託拡大及び一部業務の民間事業者への技術移転の拡大 			→			→		
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
経営改善の推進と自立経営の確立	他都市ニーズのさらなる把握及び他都市業務等の受注						組織効率化の検討及び令和6年度における黒字経営の確保					
中長期的なミッションを達成するための体制強化と技術移転の推進	3業務の受託・拡大											
	漏水調査業務における民間連携実施方法の詳細検討						民間連携の準備・着手					
	採用活動（インターンシップ等）・人材確保（令和6年度採用試験）											
	派遣職員や市OB職員によるOJT・資格取得推進などによる固有職員の育成の推進（技術力の強化）											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目 標 及 び 実 現 方 法	<p>目標</p> <p>(できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他都市からの業務受託を拡大しつつ自立経営を実現し黒字経営を目指す。 ・水道局受託業務を通して水道事業の効率化に貢献するとともに、業務実施を通じて培ったスキルを活用し、民間事業者の育成と技術移転の推進を目指す。
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模や受託業務の変化にあわせた組織体制の見直し、効率化を図る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・DXをさらに推進するため、プロジェクトチームを立ち上げ、業務改善、経営の効率化を図る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用を継続し引き続き2名以上の人材を確保するとともに、採用の幅が広がるよう採用型インターンシップの実施に取り組む。
		<ul style="list-style-type: none"> ・固有職員3名以上において公社経営に有用な資格を新たに取得するなど、計画的に固有職員のスキルアップを図り人材育成を強化する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務受託のために必要な技術士、土木施工管理技士等の資格取得を固有職員1名以上において取得する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・水栓作業補助業務について新たに受託し、3業務すべてを受託する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・3業務のうち、漏水調査業務において受託拡大を図る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・3業務について民間連携の方法について検討を進め、民間事業者を育成し、技術の継承・移転に取り組む。
		<ul style="list-style-type: none"> ・他都市等業務受託に向け、近隣市等への個別の営業活動に加え、県下事業者が集まる場等を活用し営業活動（1回以上）を実施する。 ・近隣他都市等のニーズ把握をさらに努め、新規業務を受託し、安定した受注を推進する。

■ 市支援策の活用状況（令和4年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input checked="" type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	